

主催:只見川電源流域振興協議会 担当:奥会津 FDS/奥会津書房 問合せ:0241-52-3580

## 山里は貧しく寂しく何もないと人びとは **〜街へと移り住んでいった**

厳しい時代だったけれど、 勢いのあった時代だったね。

## 監督メッセージ

高度経済成長以前の山里の暮らしは環境と共存する社会だった。

それは山を慈しみ 山と共にある暮らし。そして村人たちは助け合いながら暮らしていた。

そこで当時を記録した膨大な記録写真を手掛かりに、当時を生きた人達と当時の生業の継承者達の話に耳を傾け、

持続可能な共生社会を築くためのヒントを伝えたい。









子供の頃から家の仕事を手伝 当り前に思っていた。





事らしに欠かせない薪は 皆で分け合って暮らしていた。

昔は集落に獣が出たなんて話は

聞いたことが無かった。



森の生き物と共存できる林業を



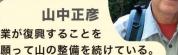
すぐに壊れる製品を注文する大手 ホームセンターの注文を断った。

歴史的に重要な役割を果たして



風雪に耐えて育つ山の恵みに **惑謝しながら必要な分だけを採取する** 

50年後、林業が復興することを





13:00 開場・受付

13:30 奥会津の山林について 渡部一也氏(一般社団法人 奥会津 FDS)

13:45 上映「山里は持続可能な世界だった」

15:00 対談 原村政樹監督×渡部一也氏

16:00 閉会

本編後半では、菅家藤一さん (三島町) が出演されていま す。原村監督は、現在、菅家さんの日常を通して、山と共生 する暮らしの実態を見つめる次作に向けて、取材・撮影を続 けておられます。是非ご高覧ください。

